

議題

新人職員の ホッネ

公務員試験について

試験対策には過去問や大学院入試の問題を解いたりしました。大学4年生の時に試験に合格して、修士課程修了後に入省する人もいます。

入省してみて…

難しいと感じたことは、制度の改正などが起こったとき、数字の上でその影響どこに現れるかを把握し、わかりやすく説明することです。

多田 颯 保険局

私が担当している健康保険に関する統計の業務は、医療費の推計や、制度設計に大きく関わっており、現状把握だけでなく、未来について考える仕事でもあると言えます。

外部からの資料提供依頼も多く、社会からの関心の高さ、重要さというものを実感する機会が多いです。

官庁訪問について

官庁訪問では、数理職の人と面接をすることになります。数理職の仕事の内容や実態を詳しく聴くことができます。また、数理職の人の雰囲気を知れる機会でもあります。

東郷 拓巳 年金局

現在の主な仕事内容は、年金事業の実績を表す統計資料を毎月作成すること、年金に関する統計調査の企画や結果の集計、省内や外部からの統計資料の依頼に対応することの3つです。

一般の方から統計資料について、電話で問い合わせもよくあります。複雑な年金制度に関する、複雑な統計資料をわかりやすく伝えることの難しさを日々感じています。

入省してみて…

政策の根拠となるような統計データの需要はとても高いと感じます。省内から、「〇〇というデータはないか」と問い合わせを受けることはよくあります。

入省後の研修について

入省後は省内の研修に加えて、人事院の研修もあります。人事院の研修では、介護体験をしたり、地方自治体に派遣されたりするなど貴重な経験ができます。

両角 達彦 政策統括官（統計・情報政策・政策評価担当）

私が厚生労働省の数理職を志望した理由は、社会保障制度などの人々の暮らしにかかわるような分野に数理的な能力を生かして関われるからです。

業務の中で高度な数学を使うわけではないですが、統計数値の変化を分析するときやエクセルでマクロを作成するときなど数理的な能力を生かせる場面が多くあります。

入省してみて…

電話対応や書類の作成など事務作業も結構あります。また、突発的に仕事の依頼が来ることもあり、通常業務との両立を考えながら仕事をしています。

皆様と一緒に働けることを楽しみにしています！